

2025年(令和7年)

9月6日(土)

河北新報社

〒980-8660

仙台市青葉区五橋1-2-28

www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111

読者センター(211)1447

ご購入申し込みは

オオク ミナヨム

0120-09-3746

河北新報

己の使命CG画で表現

仙台・あすまで 山下重人さん個展

仙台市の会社員で、画家として始まった。進行性筋ジストロフィーと向き合いつつ、絵を描いたり詩を書いたりしてきた思いを表現し



20年ぶりに開かれる山下さんの個展＝仙台市青葉区のせんだいメディアテーク

ている。

「使命とは己の命の使い道」と題し、これまで描いた200点余りのCG画の中から自身が選んだ25点と、詩と絵のパネル5点の計30点が並ぶ。

タイトルと同じ作品には桜の木の上に虹が架かり、鳥が舞う心象風景を表現。「ネモフィラ」は月に向かって咲く花の姿を描いた。

山下さんは宮崎市で生まれ、3歳で進行性筋ジストロフィーと診断された。1994年に障害者支援施設「太白ありのまま舎」(太白区)に入り、現在は宮城野区の自宅で生活。ペンタブレットとパソコンで絵を描き、画面に表示される50音文字を選んで現代詩を書いている。

「20年ぶりの個展で、作品を見てもらえる機会がある奇跡に感謝している」と語る。

7日まで。午前10時～午後5時。入場無料。6日前11時～午後2時は山下さんが在廊する。